

ポスター発表

▶ポスター発表 1

8月11日(土) 10:00~12:00

ポスター掲示作業時間 09:30~10:00

在籍責任時間(奇数番号) 10:00~11:00

在籍責任時間(偶数番号) 11:00~12:00

2階 アリーナ・体育館

-
- P1-01 発達障害児に対する音楽活動を導入した対人スキル指導
野口 由衣(株式会社 LITALICO LITALICO 研究所)
本間 美穂(株式会社 LITALICO LITALICO 研究所)
-
- P1-02 知的障害者雇用における職場管理者の雇用意識の変容過程
—個人・集団・組織の相互作用に着目して—
根本 治代(昭和女子大学)
-
- P1-03 放課後等デイサービス事業所におけるASD児へのソーシャルスキルトレーニングとホームワークの効果
阿部 麻衣子(株式会社 LITALICO)
池田 麻美(株式会社 LITALICO)
本間 美穂(株式会社 LITALICO)
-
- P1-04 小学校高学年児童の仲間との相互作用が学習態度に及ぼす影響
—仲間との相互作用が抑制されている児童の対応の検討—
渡邊 雅俊(國學院大學人間開発学部)
-
- P1-05 被虐待児における漢字の書字学習の困難さについて
—LDのためのプリント教材を用いた学習支援の経過から—
赤塚 めぐみ(常葉大学保育学部)
後藤 隆章(横浜国立大学教育学部)
小池 敏英(東京学芸大学教育学部)
-
- P1-06 読み書き学習の低成績児童に対する支援とUDLの関連について
後藤 隆章(横浜国立大学教育学部)
本 純佳(横浜国立大学大学院教育学研究科)
赤塚 めぐみ(常葉大学保育学部)
中 知華穂(品川区教育総合支援センター)
小池 敏英(東京学芸大学教育学部)
-
- P1-07 発達障害当事者を含む家族,教員,研究者,支援者等による 双方向コミュニケーションを可能にする対話の場づくり
—安心安全の場づくりとしてグラフィックファシリテーションを活用した事例紹介—
鈴木 さよ(凸凹フューチャーセンター)
-

	奥野 美里 (凸凹フューチャーセンター) 細田 拓成 (凸凹フューチャーセンター) 上田 雅継 (凸凹フューチャーセンター) 宮崎 稔也 (凸凹フューチャーセンター)
P1-08	相談支援従事者研修のプログラム開発と評価に関する研究 —モデル研修の実施と全国研修への普遍化の検討就労上の課題— 大村 美保 (筑波大学人間系) 森地 徹 (筑波大学人間系) 小澤 温 (筑波大学人間系)
P1-09	発達障害児の親における自己体験の語りと心理的ストレス反応の関連 足立 みな美 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科) 井上 雅彦 (鳥取大学大学院医学系研究科)
P1-10	就労移行支援における発達障害者の日常生活活動に関する評価 中村 有志 (国立障害者リハビリテーションセンター)
P1-11	看護学実習における実習指導者の指導困難感の検討 —学生の特性の経年変化をみて— 吉兼 伸子 (山口県立大学)
P1-12	特別支援学校進路指導担当教員の職務遂行上与えられている裁量及び権限の 範囲に関する調査 —専任進路教員数の違いによる分析を中心に— 山口 (藤井) 明日香 (高松大学発達科学部)
P1-13	継続支援における橋渡しとしての5歳児運動健診 —教育機関との情報共有システムの構築を目指して— 宇部 弘子 (日本体育大学児童スポーツ教育学部) 木村 真依子 (前橋赤十字病院) 加藤 弘美 (日本大学文理学部心理臨床センター)
P1-14	トピックの維持に難しさを抱える広汎性発達障害児に対する —“イメージマップ (意見の見える化)”を通じた会話指導— 真鍋 健 (千葉大学教育学部) 栗林 晶穂 (秩父学園)
P1-15	米国障害者教育法における「適切な」教育をめぐる法解釈 —最高裁における判決の比較分析— 吉利 宗久 (岡山大学) 趙 氷雁 (岡山大学) 劉 文浩 (岡山大学) 津島 靖子 (就実大学)

P1-16	<p>日常的な動作を用いた知的障がい者の下肢筋力評価の検討</p> <p>利根川 賢 (富家病院)</p> <p>中嶋 誠 (緑成会整育園)</p> <p>神子嶋 誠 (埼玉医科大学保健医療学部)</p>
P1-17	<p>大学生における類似性の認知が肢体不自由者の心的状態の推測方略に与える影響②</p> <p>—類似性随伴性モデルに基づく検証—</p> <p>藤村 励子 (東北大学大学院教育学研究科)</p> <p>野口 和人 (東北大学大学院教育学研究科)</p>
P1-18	<p>性差を考慮した幼児版社会性・行動評価尺度の開発</p> <p>—『にんぎょう遊び』の項目の予備調査結果の報告—</p> <p>田中 駿 (京都教育大学特別支援教育臨床実践センター)</p> <p>郷間 英世 (姫路大学 看護学部)</p> <p>牛山 道雄 (京都教育大学 発達障害学科)</p> <p>小谷 裕実 (京都教育大学 発達障害学科)</p> <p>井上 和久 (大谷大学 文学部)</p> <p>加藤 寿宏 (京都大学 医学部)</p> <p>落合 利佳 (大阪大谷大学 教育学部)</p> <p>池田 友美 (摂南大学 看護学部)</p> <p>清水 里美 (平安女学院大学 短期大学部)</p> <p>大谷 多加志 (京都国際社会福祉センター)</p> <p>郷間 安美子 (京都国際社会福祉センター)</p> <p>武藤 葉子 (奈良教育大学 特別支援教育研究センター)</p> <p>原口 喜充 (大阪大学大学院)</p> <p>大久保 圭子 (兵庫県立赤穂特別支援学校)</p> <p>圓尾 奈津美 (京都市保育園連盟)</p> <p>鈴木 万喜子 (京都教育大学 特別支援教育臨床実践センター)</p>
P1-19	<p>性差を考慮した幼児版社会性・行動評価尺度の開発</p> <p>—得点化試案の報告—</p> <p>郷間 英世 (姫路大学看護学部)</p> <p>田中 駿 (京都教育大学特別支援教育臨床実践センター)</p> <p>牛山 道雄 (京都教育大学発達障害学科)</p> <p>小谷 裕実 (京都教育大学発達障害学科)</p> <p>井上 和久 (大谷大学文学部)</p> <p>加藤 寿宏 (京都大学医学部)</p> <p>落合 利佳 (大阪大谷大学教育学部)</p>

池田 友美（摂南大学看護学部）
清水 里美（平安女子大学短期大学部）
大谷 多加志（京都国際社会福祉センター）
郷間 安美子（京都国際社会福祉センター）
武藤 葉子（奈良教育大学特別支援教育研究センター）
原口 喜充（大阪大学大学院）
大久 保圭子（赤穂特別支援学校）
圓尾 奈津美（京都市保育園連盟）
鈴木 万喜子（京都教育大学特別支援教育臨床実践センター）

支援を必要とする当事者が求める継続的なアプローチを目指すシステムの構築と支援の方向性

P1-20

—視覚障害、知的障害等の支援を目指す当事者組織の活動実践と支援について—

刀禰 豊（岡山東支援学校）
安部 麻呂（チーム響き）

ペアレント・トレーニング参観によるスタッフへの研修効果

P1-21

—段階的な保護者支援研修プログラムの検討に向けて—

岡村 章司（兵庫教育大学大学院）
大脇 知子（兵庫県立阪神特別支援学校）

ダウン症児における体操の運動機能、歩行機能、足部形態への効果の検討

P1-22

佐藤 日愛（大原総合病院）
岸田 千洸（富家病院）
吉田 愛香（心身障害児総合医療療育センター）
神子嶋 誠（埼玉医科大学保健医療学部）
小野 正恵（東京逡信病院）

「高校通級」充実の主導者は誰か：環境整備と学習内容設定のポイント

P1-23

—M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を用いて—

角 あすか（京都市立東山総合支援学校）
小谷 裕実（京都教育大学 発達障害学科）
森脇 勤（京都市教育委員会 総合育成支援課）

発達障害のある大学生に対するノートテイク支援の可能性についての考察

P1-24

—要約テイクは発達障害のある大学生に有効か—

田実 潔（北星学園大学）
播磨 正一（北星学園大学）

-
- 聴覚特別支援学校における遅刻をする生徒へのセルフモニタリングの効果
P1—25 —自己記録のみの手続きの適用による効果の検討—
森 一晃（愛知県立名古屋聾学校）
-
- 呼吸に問題を示した重症児への対応から 重症児教育に求められる専門性の考察
P1—26 —自立活動専任者の持つ校内コンサルテーション機能—
武田 俊男（金沢大学大学院 人間社会環境研究科）
-
- 知的障害者の認知症アセスメントに対する支援者の認識に関する研究
P1—27 小野田 実恵（東京学芸大学大学院教育学研究科）
松本 咲子（東京学芸大学大学院教育学研究科）
今枝 史雄（大阪教育大学）
菅野 敦（東京学芸大学）
-
- 成人期ダウン症者の学習特性に関する研究
—観点(上位概念)抽出に関する課題を通して—
P1—28 竹井 卓也（東京都立八王子特別支援学校）
今枝 史雄（大阪教育大学）
菅野 敦（東京学芸大学）
-
- 自閉スペクトラム症傾向児と定型発達児との 共同学習場面における対人相互作用
P1—29 金山 裕望（関西学院大学大学院 文学研究科）
庭山 和貴（大阪教育大学大学院 連合教職実践研究科）
石川 信一（同志社大学 心理学部）
佐藤 寛（関西学院大学 文学部）
-
- P1—30 ボーダーライン及び軽度発達障害のある生徒・学生の特性を活かしたキャリア支援の
あり方に関する予備的研究
—大学在学中及び就労後に発達障害傾向を自覚した女性へのインタビューから—
奥野 美里（同志社大学）
-

▶ポスター発表2

8月12日(日) 10:00~12:00

ポスター掲示作業時間 09:30~10:00

在籍責任時間(奇数番号) 10:00~11:00

在籍責任時間(偶数番号) 11:00~12:00

2階 アリーナ・体育館

-
- P2-01 平仮名の獲得が困難な児における読字指導の効果
津島 靖子(就実大学教育学部)
荻野 竜也(福山市こども発達支援センター)
諸岡 輝子(岡山大学病院医療技術部検査部門)
-
- P2-02 韓国における乳幼児期の統合保育が障がい児、健常児、保護者に及ぼす影響
—保育士へのインタビューを中心に—
安 世羅(創価大学文学研究科教育学専攻)
藤原 義博(創価大学教育学部)
-
- P2-03 発達障害のある児童・生徒の学習のつまずきの特性の検討
—発達障害の可能性のある児童生徒のための全国実態調査におけるチェックリストの標準得点の開発に向けて—
玉木 宗久(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
海津 亜希子(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
-
- P2-04 児童の学級満足度と授業満足度からみるユニバーサルデザインの効果
山元 薫(静岡大学教育学部)
-
- P2-05 特別支援学校におけるESDによるアクティブ・ラーニングの教育実践例(3)
—生活単元学習における作業製品販売ショップの活動を通して—
谷村 佳則(秋田大学教育文化学部)
-
- P2-06 特別な支援を必要とする子どもの保護者の子どもに対する捉えの変化と変化に与える要因の検討
村上 理絵(広島大学大学院教育学研究科)
高橋 彩(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科)
綱島 ちえ(滋賀県スクールカウンセラー)
綱島 庸祐(児童養護施設 鹿深の家)
-
- P2-07 65歳以上の知的障害者で認知症様症状がある人と症状がない人とのケア量の比較に関する研究
—全国障害者支援施設に対する65歳以上の知的障害者についての質問紙調査の2次分析より—
木下 大生(武蔵野大学人間科学部)
-

	長谷部 雅美（聖学院大学心理福祉学部） 小澤 温（筑波大学大学院人間系）
P2—08	保育所における「就学支援シート」の取り組みについて —東京都に勤務する保育士の質問紙調査から— 白取 真実（貞静学園短期大学）
P2—09	子どもの口腔周囲機能を高める方策とその効果 田中 るみこ（中村学園大学）
P2—10	中国における特殊教育改革の到達点と今後の課題 —「推進計画」一期・二期の比較と分析— 劉 文浩（岡山大学大学院教育学研究科） 吉利 宗久（岡山大学大学院教育学研究科）
P2—11	幼児のカタカナ読み習得に関与する文字特性の検討 —絵本によく出てくるカタカナは習得されやすいのか？— 樋口 大樹（N T Tコミュニケーション科学基礎研究所） 奥村 優子（N T Tコミュニケーション科学基礎研究所） 藤田 早苗（N T Tコミュニケーション科学基礎研究所） 服部 正嗣（N T Tコミュニケーション科学基礎研究所） 小林 哲生（N T Tコミュニケーション科学基礎研究所）
P2—12	生徒の問題行動に対する教員とスクールカウンセラーの協働 —学級担任が感じる心理的負担感の変化の分析から— 浅野 浩子（白鳳短期大学） 中浦 守浩（白鳳短期大学） 熊谷 享子（豊橋創造大学短期大学部）
P2—13	自閉スペクトラム症児のアタッチメント行動の変容過程（1） 山口 知慧（京都府立特別支援学校） 佐藤 克敏（京都教育大学）
P2—14	発達障がい児の長期予後調査から見た自閉症スペクトラム指数と診断時の 言語発達の関連 古藤 雄大（地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センタ ー） 新澤 伸子（武庫川女子大学文学部） 伊丹 昌一（梅花女子大学心理こども学部） 永井 利三郎（桃山学院教育大学教育学部）
P2—15	障害福祉サービス利用者の各年代における適応スキルと支援ニーズの特徴 —ASIST 適応スキルプロフィール-IDver.を用いた調査をもとに— 西郷 俊介（社会福祉法人 葦の家福祉会）

P2-16	<p>成人期知的障害者の障害福祉サービスにおける 一般就労へ向けた支援課題に関する研究(Ⅱ)</p> <p>—コミュニケーション領域に焦点を当てて—</p> <p>近藤 拓弥 (独立行政法人福祉医療機構)</p> <p>今枝 史雄 (大阪教育大学)</p> <p>竹井 卓也 (東京都立八王子特別支援学校)</p> <p>菅野 敦 (東京学芸大学)</p>
P2-17	<p>知的障害特別支援学校「朝の会」における自発的な課題遂行の促進</p> <p>—係活動と物理的な環境設定と教員の段階性を踏まえた支援を通して—</p> <p>熊本 慎也 (埼玉県立行田特別支援学校)</p> <p>霜田 浩信 (群馬大学教育学部)</p>
P2-18	<p>知的障害特別支援学校高等部に在籍する軽度知的障害生徒のメンタルヘルスに関する調査</p> <p>仲野 栞 (東京学芸大学大学院教育学研究科)</p> <p>橋本 創一 (東京学芸大学教育実践研究支援センター)</p> <p>三浦 巧也 (東京農工大学大学院工学研究院)</p> <p>日下 虎太郎 (東京学芸大学大学院教育学研究科)</p> <p>山中 小枝子 (東京学芸大学大学院教育学研究科)</p>
P2-19	<p>ダウン症成人例に併発した強迫性障害</p> <p>小谷 裕実 (京都教育大学発達障害学科)</p>
P2-20	<p>養護教諭による虐待の原因の類型に関する研究 (1)</p> <p>—多変量解析における虐待の原因の類型(タイプ)について—</p> <p>林 幸範 (滋賀短期大学)</p> <p>石橋 裕子 (帝京科学大学)</p>
P2-21	<p>養護教諭による虐待の原因の類型に関する研究 (2)</p> <p>多変量解析における虐待の原因の類型(タイプ)と調査対象の概要との関係について</p> <p>石橋 裕子 (帝京科学大学 学校教育学科)</p> <p>林 幸範 (滋賀短期大学 幼児教育保育学科)</p>
P2-22	<p>知的障害者のコミュニケーション行動変容に関する一事例研究</p> <p>—応用行動分析に基づいたチーム支援—</p> <p>松田 翠 (株式会社 LITALICO)</p> <p>陶 貴行 (株式会社 LITALICO)</p>
P2-23	<p>兄弟との遊び場面において発達障害児が示す問題行動に対するビデオ介入の検討</p> <p>—療育に関する相談事例を通して—</p> <p>小笠原 忍 (明星大学大学院人文学研究科)</p> <p>竹内 康二 (明星大学心理学部)</p>

P2—24	知的障がい者のきょうだいが抱える重圧と支援ニーズ —壮年期以降のきょうだいに焦点を当てて— 吉岡 啓子（大阪府福祉部）
P2—25	「親亡き後」のあんしんできる地域生活 —後見的支援制度について— 加藤 昭和（社会福祉法人 県央福祉会 みどりのこかげ）
P2—26	障害幼児への早期支援における児童発達支援施設の連携体制に関する研究 —設置経営主体との関連から— 佐藤 麗奈（練馬区立光が丘春の風小学校） 今枝 史雄（大阪教育大学） 菅野 敦（東京学芸大学）
P2—27	「気になる子ども」の保護者と保育者との関係性構築に関する研究 —巡回相談や他の保育者が影響するプロセス— 南 千尋（幼稚園教諭） 腰川 一恵（聖徳大学児童学部）
P2—28	特別支援学校と市教育委員会が連携した特別な配慮・支援が必要な子どもへの支援継続の取組 大久保 圭子（兵庫県立赤穂特別支援学校） 井上 和久（大谷大学）
P2—29	青年期・成人期ダウン症候群に表れる日常生活スキルの低下に関する研究動向 —近年の研究論文にみる「急激退行」様症状の発現— 伊藤 浩（社会福祉法人 幸会） 菅野 敦（東京学芸大学教育実践研究支援センター）
P2—30	書字につまずきを抱える小児の Rey 複雑図形検査成績の検討 加戸 陽子（関西大学） 荻野 竜也（福山市保健福祉局保健部こども発達支援センター） 中野 広輔（愛媛大学） 眞田 敏（広島文化学園大学）
P2—31	職場における発達障害者のコミュニケーションに対する支援 岩佐 美樹（障害者職業総合センター 研究部門）
P2—32	成人期の発達障害診断と治療過程における職業的課題への対応 —精神科医を対象としたインタビュー調査による検討から— 知名 青子（障害者職業総合センター）

▶ポスター発表3

8月12日(日) 13:00~15:00

ポスター掲示作業時間 12:30~13:00

在籍責任時間(奇数番号) 13:00~14:00

在籍責任時間(偶数番号) 14:00~15:00

2階 アリーナ・体育館

-
- P3-01 放課後等デイサービス事業所に対するヒアリング調査
—「理念」「支援」「活動」に関するカテゴリ分類による考察—
佐山 智洋(国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局秩父学園)
永吉 敏広(国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局秩父学園)
-
- P3-02 ユニバーサルデザインを教育実践に活用するための研修開発
鷲見 宏太(岐阜県美濃市立美濃中学校)
平澤 紀子(岐阜大学大学院 教育学研究科)
-
- P3-03 特別支援学級在籍児童の支援継続のための小学校と中学校の「移行期」における連携の実態
井上 和久(大谷大学文学部)
大久保 圭子(兵庫県立赤穂特別支援学校)
-
- P3-04 矯正施設を退所し自宅等で地域生活をしている知的障害者等の生活実態調査
—全国地域生活定着支援センターに対する実態調査から—
古屋 和彦(国立のぞみの園)
関口 清美(国立のぞみの園)
水藤 昌彦(山口県立大学社会福祉学部)
脇中 洋(大谷大学文学部)
相馬 大祐(福井県立大学看護福祉学部)
-
- P3-05 高等部単独の知的障害特別支援学校における情報関連教育・情報モラル教育の現状
—全国調査による検討—
爲川 雄二(東北大学大学院教育学研究科)
-
- P3-06 成人期知的障害者の選択行為に関わる問題理解プロセス遂行の特徴(Ⅱ)
—「観点の命名」プロセスに焦点をあてて—
今枝 史雄(大阪教育大学)
菅野 敦(東京学芸大学)
-
- P3-07 トラウマ・インフォームド・ケア TIC による支援の提案
—性問題行動のある知的・発達障害者への支援を中心とした検討—
伊庭 千恵(ライフデザイン・カウンセリングルーム)
-

	本多 隆司 (種智院大学)
P3-08	知的障害特別支援学校における進路指導の教育的課題 大谷 博俊 (鳴門教育大学大学院)
P3-09	発達障害者の自己理解を促進するための支援に関する研究 —職業リハビリテーションに携わる支援者の支援行動の明確化— 前原 和明 (障害者職業総合センター) 八重田 淳 (筑波大学)
P3-10	特別支援学校におけるメンタリング機能が若手教師の実践や精神健康に与える影響について —事例調査の結果を踏まえた—考察— 宮崎 義成 (東京都立府中けやきの森学園)
P3-11	自閉症児者への接し方に対する生活支援員の認識 松山 郁夫 (佐賀大学大学院学校教育学研究科)
P3-12	「気になる」幼児への支援における専門職の役割と機能に関する予備的検討 平野 碧 (東北大学 教育学部) 佐々木 孝子 (宮城教育大学) 野口 和人 (東北大学 教育学研究科)
P3-13	成人期知的障害者における障害福祉サービスの役割に関する検討 松本 咲子 (東京学芸大学) 今枝 史雄 (大阪教育大学) 菅野 敦 (東京学芸大学)
P3-14	発達障害児の表情理解特性に関する研究 —日本版 IFEEL Pictures を使用した写真-線画マッチング課題の開発— 高橋 麻李衣 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科)
P3-15	療育施設を利用している発達障害児(疑い含む)の父親のソーシャルサポートの関連と支援の検討 石田 史織 (信州大学医学部保健学科) 山崎 明美 (信州大学医学部保健学科) 高橋 宏子 (信州大学医学部保健学科) 五十嵐 久人 (信州大学医学部保健学科) 奥野 ひろみ (信州大学医学部保健学科)
P3-16	地域特性に応じた小規模市町村の発達支援システムの現状と課題 —提言 (2015) に沿って、おかやま発達障害者支援センターの市町村サポートの役割を考える— 今出 大輔 (旭川荘療育・医療センター／おかやま発達障害者支援センター) 池内 豊 (おかやま発達障害者支援センター)

	末光 茂（社会福祉法人旭川荘）
P3—17	親子のやり取りに見られる調整不良場面における親の対処 —発達障害児の親の支援に向けて— 須貝 香月（武庫川女子大学） 石川 道子（武庫川女子大学）
P3—18	発達障害児を持つ保護者の葛藤と支援 —保護者の後方視的語りからの検討— 橋詰 啓子（武庫川女子大学） 石川 道子（武庫川女子大学）
P3—19	自閉スペクトラム症者の主観的幸福感とその源泉 小島 道生（筑波大学人間系）
P3—20	わたしが今の職場で働いている理由と QOL —デンマークの福祉的就労の場で働く知的障害者 4 人の事例から— 立田 瑞穂（山口学芸大学）
P3—21	強度行動障害を伴う自閉症児への教育支援と進路指導の在り方 矢野川 祥典（高知大学教育学部附属特別支援学校） 大久保 裕也（高知大学教育学部附属特別支援学校） 山崎 敏秀（高知大学教育学部附属特別支援学校） 蒲生 啓司（高知大学教育学部）
P3—22	通常学級の教員における合理的配慮に対する困難感 西村 暁（株式会社 LITALICO） 井上 雅彦（鳥取大学医学系研究科）
P3—23	看護・福祉系学生の自閉症スペクトラムに関する知識 福島 康子（新見公立大学看護学研究科） 矢嶋 裕樹（新見公立大学健康科学部）
P3—24	教職課程専攻学生の特別支援教育に関する意識 —教科（保健体育）専攻学生について— 京林 由季子（岡山県立大学）

※主題、副題、発表者などにつきましては、ポスター発表のお申込み受付内容で記載しています。